

(表2-3-3-9) 解決前後のパターンの相関行列
(高齢者パターン2 “一部介助、中高程度重症度” の場合)

(n=60)

			解決後のパターン							
			パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6	パターン7	パターン8
			声をかけると素直に食べるようになった	時間はかかるが摂るようになった	必ず少しは箸をつけるようになり、全量摂取することもできた	毎回ではないが食べ始めるようになった	拒否が少なくなり、食べるようになった	介助すると口をあけ、食べるようになった	拒否が少なくなり、一緒に食卓で、全量摂食することもできた	介助すると口をあけ、時間はかかるが摂食するようになった
解決前のパターン	パターン1	配膳に手をつけようとしなかった	-0.142	-0.043	0.248	-0.093	0.165	0.116	-0.193	-0.007
	パターン2	食卓につこうとしなかった	0.341 **	-0.003	-0.139	-0.113	-0.069	-0.131	-0.050	-0.050
	パターン3	介助しても食べようとしなかった	-0.169	0.116	-0.110	0.395 **	-0.152	0.120	0.050	-0.175
	パターン4	複合的食卓誘導拒否	0.110	-0.215	0.006	-0.144	-0.149	-0.123	0.305 *	0.312 *
	パターン5	食卓以外の別の場所にいっていた	0.041	-0.034	-0.087	-0.082	0.290 *	-0.028	-0.058	-0.047
	パターン6	居室内でお菓子を食べていた	-0.112	0.316 *	-0.062	-0.027	-0.060	-0.056	-0.044	-0.067

(注) 潜在クラス帰属確率による相関係数

高齢者パターンは帰属確率をクラスター化した(集計手法制約上の配慮)

(帰属確率によるパターン2の事例数に近似するもやや異なる)

(有意水準) 1%水準 **

5%水準 *

(表 2-3-3-10) 高齢者パターン別にみた解決前の状況

	【実数】			【比率】(縦100)		
	全体	パターン1 自立、中程 度重症度	パターン2 一部介助、 中高程度重 症度	全体	パターン1 自立、中程 度重症度	パターン2 一部介助、 中高程度重 症度
有効回答数	205	144	61	100.0	100.0	100.0
席に誘導しようとする拒否した	60	43	17	29.3	29.9	27.9
食事の時間になっても食卓につこうとせず、別の場所 にいてしまっていた	48	33	15	23.4	22.9	24.6
配膳しても手をつけようとしない	137	100	37	66.8	69.4	60.7
しつこく声かけすると怒り、暴言・暴力行為などがあつた	56	33	23	27.3	22.9	37.7
食事の時間になっても、床拭きなどの作業をして声か けをし誘っても断った	4	3	1	2.0	2.1	1.6
食事の時間でも食べることに関心がなく介助しても口 から出したり、顔をそむけて拒否した	60	33	27	29.3	22.9	44.3
居室内でお菓子を食べていた	12	9	3	5.9	6.3	4.9

(注) 潜在クラス帰属確率による集計

(表 2-3-3-11) 高齢者パターン別にみた解決後の状況

	【実数】			【比率】(縦100)		
	全体	パターン1 自立、中程 度重症度	パターン2 一部介助、 中高程度重 症度	全体	パターン1 自立、中程 度重症度	パターン2 一部介助、 中高程度重 症度
有効回答数	205	144	61	100.0	100.0	100.0
拒否が少なくなり、食べるようになった	55	39	16	26.8	27.1	26.2
声をかけると素直に食べることが多くなった	61	38	23	29.8	26.4	37.7
食事の摂取にはつながらないが、好きなおやつは拒 否なく食べるようになった	15	9	6	7.3	6.3	9.8
必ず少しは箸をつけるようになり、全量摂取することも できた	59	44	15	28.8	30.6	24.6
毎回ではないが食べ始めるようになった	30	21	9	14.6	14.6	14.8
時間はかかるが摂取するようになった	63	37	26	30.7	25.7	42.6
他利用者と一緒に食堂で摂取するようになった	35	25	10	17.1	17.4	16.4
全量完食するようになった	24	13	11	11.7	9.0	18.0
介助すると口をあげ、食べるようになった	22	9	13	10.7	6.3	21.3
自分から食器を持ち食べるようになった	26	16	10	12.7	11.1	16.4

(注) 潜在クラス帰属確率による集計

(表 2-3-4-1) 食事拒否の解決方法

区分	code	解決時に行った方法	実数	%
		有効回答数	253	100.0
環境調整	101	少人数席に変更	46	18.2
	102	広い場所から小さい場所へ変更	3	1.2
	103	好きな場所で食事を取る	75	29.6
	104	花等をテーブルに置き、落ち着いた環境	18	7.1
	105	食事メンバー	17	6.7
	107	席位置の変更	5	2.0
	108	静かな環境を調整	7	2.8
	190	その他	5	2.0
	声かけの工夫	201	本人ペースで声かけ	181
202		声かけの内容を工夫	35	13.8
203		作業の流れで声かけ	13	5.1
204		食事前からこまめに声かけ	39	15.4
205		声かけをせず、職員と一緒に	72	28.5
211		好きな話題で声かけ	77	30.4
212		家族の話題	51	20.2
216		仲の良い人が声かけ	3	1.2
217		声かけ、会話量の増加	2	0.8
誘導の工夫	226	配膳をしてもらう	17	6.7
	227	調理を手伝う	27	10.7
	228	おしぼりを渡す	4	1.6
	229	食事前にお茶を提供	35	13.8
	230	食事内容、献立の説明	56	22.1
	238	誘導時間の調整	3	1.2
	290	その他	2	0.8
食事の工夫	301	食べやすいよう、盛りつけを工夫	108	42.7
	302	カロリーを考慮し、おやつを提供	45	17.8
	303	水分摂取量を増やした	36	14.2
	304	外出時、外食に誘導	30	11.9
	305	一緒に買い物に行き、好きなメニューにする	12	4.7
	306	好きな食べ物を見せる	78	30.8
	307	好きな献立にする	63	24.9
	308	食事時間の調整	3	1.2
	309	職員と一緒に食事	9	3.6
	310	最初だけ介助	2	0.8
	312	食器の工夫	5	2.0
	313	食材の形態、色等の工夫	12	4.7
	314	食事回数の調整	1	0.4
	333	量を減らす	3	1.2
390	その他	3	1.2	
生活のリズム	401	活動量を増やす	108	42.7
	402	生活のリズム調整	30	11.9
	403	静かな、落ち着いた環境をつくり、静養	14	5.5
	404	ぐっすり眠ってもらうようにした	58	22.9
	405	一端、休憩	37	14.6
	406	発声練習	14	5.5
	409	趣味活動を実施	2	0.8
	410	コミュニケーションをふやす	86	34.0
	490	その他	2	0.8
その他	502	受容し、安心してもらった	25	9.9
	503	義歯調整	17	6.7
	504	医療的対応	4	1.6
	506	排便調整	2	0.8
	507	服薬の調整	3	1.2
	508	疼痛管理	1	0.4
	590	その他	5	2.0

(参考) 平均回答項目数 → 6.4

(表2-3-4-2) 食事拒否の解決方法組み合わせパターン
(潜在クラス13クラスモデルのプロフィール)

区分	code	解決方法	(n=253)														
			パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6	パターン7	パターン8	パターン9	パターン10	パターン11	パターン12			
		全体	1.000	0.296	0.144	0.087	0.065	0.063	0.062	0.060	0.057	0.041	0.036	0.032	0.032	0.028	
環境調整	101	少人数席に変更	0.182	0.182	0.001	0.090	0.310	0.211	0.333	0.132	0.481	0.502	0.002	0.502	0.244	0.002	
	102	広い場所から小さい場所へ変更	0.012	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.068	0.140	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
	103	好きな場所でも食事を取る	0.296	0.258	0.830	0.001	0.587	0.275	0.002	0.729	0.390	0.002	0.003	0.134	0.003	0.144	
	104	花等をテーブルに置き、落ち着く環境	0.071	0.029	0.000	0.000	0.061	0.115	0.317	0.332	0.000	0.194	0.001	0.001	0.001	0.140	
	105	食事メンバー	0.067	0.000	0.054	0.000	0.062	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.328	0.738	0.001	0.687	
	106	席位置の変更	0.020	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.110	0.000	0.495	0.000	
	107	静かな環境を調整	0.028	0.015	0.000	0.039	0.122	0.063	0.000	0.131	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
	180	その他	0.020	0.000	0.080	0.048	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.097	0.000	0.000	0.000	0.000	
	声かけの工夫	201	本人ベースで声かけ	0.715	0.723	0.845	0.998	0.812	0.678	0.805	0.999	0.838	0.674	0.007	0.997	0.997	0.707
		202	声かけの内容を工夫	0.138	0.139	0.089	0.001	0.001	0.132	0.389	0.463	0.140	0.108	0.001	0.125	0.001	0.279
203		作業の進め方で声かけ	0.051	0.038	0.000	0.099	0.000	0.000	0.000	0.282	0.071	0.000	0.110	0.001	0.001	0.280	
204		食事前から丁寧に声かけ	0.154	0.085	0.115	0.135	0.001	0.341	0.085	0.858	0.068	0.201	0.001	0.002	0.373	0.002	
205		声かけをせず、職員が一掃に	0.285	0.122	0.313	0.095	0.591	0.002	0.454	0.394	0.791	0.486	0.121	0.003	0.742	0.433	
211		好きな話題で声かけ	0.304	0.226	0.213	0.199	0.357	0.203	0.574	0.731	0.534	0.485	0.226	0.485	0.004	0.003	
212		家族の話題	0.202	0.242	0.119	0.097	0.001	0.184	0.255	0.594	0.072	0.418	0.002	0.002	0.492	0.142	
218		仲の良い人が声かけ	0.012	0.000	0.000	0.046	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.122	0.000	0.140	
217		声かけ、会話量の増加	0.008	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.070	0.000	0.000	0.122	0.000	0.000	
誘導の工夫		228	配膳をしてもらう	0.067	0.014	0.000	0.047	0.179	0.000	0.000	0.197	0.000	0.001	0.547	0.001	0.124	0.420
	227	調理を手伝う	0.107	0.013	0.109	0.050	0.129	0.001	0.130	0.132	0.001	0.187	0.895	0.001	0.368	0.281	
	229	おしぼりを渡す	0.016	0.000	0.000	0.000	0.000	0.128	0.000	0.131	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
	228	食事前にお茶を提供	0.138	0.000	0.059	0.001	0.318	0.563	0.001	0.590	0.191	0.483	0.001	0.001	0.001	0.281	
	230	食事内容、献立の説明	0.221	0.000	0.291	0.084	0.369	0.274	0.312	0.996	0.069	0.002	0.329	0.383	0.374	0.420	
	238	誘導時間の調整	0.012	0.000	0.000	0.048	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.245	0.000	0.000	
	290	その他	0.008	0.013	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.113	0.000	0.000	0.000	
	食事の工夫	301	食べやすいよう、盛りつけを工夫	0.427	0.328	0.351	0.030	0.824	0.003	0.858	0.793	0.854	0.803	0.226	0.858	0.884	0.144
		302	カロリーを考慮し、おやつを提供	0.178	0.000	0.223	0.305	0.001	0.129	0.631	0.596	0.001	0.196	0.120	0.003	0.125	0.709
		303	水分摂取量を増やした	0.142	0.029	0.060	0.001	0.130	0.299	0.123	0.464	0.141	0.866	0.001	0.124	0.491	0.281
304		外出前、外食に誘導	0.119	0.102	0.000	0.000	0.314	0.185	0.517	0.394	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	
306		一緒に買い物に行き、好きなメニューにする	0.047	0.000	0.000	0.048	0.317	0.000	0.000	0.068	0.000	0.272	0.110	0.000	0.001	0.140	
307		好きな食べ物を食べる	0.308	0.001	0.303	0.582	0.623	0.282	0.862	0.731	0.537	0.002	0.003	0.254	0.122	0.583	
307		好きな献立にする	0.249	0.107	0.088	0.243	0.510	0.088	0.447	0.599	0.468	0.198	0.852	0.127	0.002	0.701	
308		食事時間の調整	0.012	0.000	0.027	0.000	0.000	0.000	0.064	0.068	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
309		職員と一緒に食事	0.036	0.024	0.035	0.082	0.000	0.000	0.000	0.000	0.070	0.000	0.227	0.000	0.000	0.151	
310		最初だけ介助	0.008	0.013	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.097	0.000	0.000	0.000	0.000	
生活のリズム	401	活動量を増やす	0.427	0.256	0.046	0.225	0.997	0.584	0.196	0.726	0.578	0.996	0.449	0.884	0.881	0.853	
	402	生活のリズム調整	0.119	0.000	0.047	0.000	0.121	0.190	0.528	0.528	0.140	0.194	0.001	0.001	0.001	0.420	
	403	静かな、落ち着いた環境をつくり、静養	0.055	0.057	0.048	0.000	0.061	0.191	0.128	0.131	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	
	404	ぐっすり眠ってもらうようにした	0.229	0.132	0.036	0.001	0.998	0.254	0.321	0.528	0.995	0.571	0.330	0.369	0.251	0.003	
	405	一掃、休養	0.146	0.000	0.280	0.302	0.001	0.315	0.582	0.201	0.001	0.196	0.001	0.001	0.126	0.002	
	406	発声練習	0.055	0.026	0.000	0.051	0.000	0.184	0.000	0.328	0.000	0.195	0.001	0.001	0.001	0.140	
	407	趣味活動を実施	0.008	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.245	0.000	0.000	
	410	コミュニケーションをふやす	0.340	0.324	0.417	0.188	0.135	0.280	0.260	0.267	0.752	0.003	0.234	0.621	0.872	0.434	
	480	その他	0.008	0.000	0.027	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.122	0.000	0.000	
	その他	502	受領し、安心してもらった	0.099	0.079	0.130	0.056	0.122	0.132	0.129	0.266	0.070	0.001	0.001	0.001	0.245	0.001
503		職員調整	0.067	0.028	0.000	0.177	0.000	0.000	0.086	0.328	0.000	0.205	0.110	0.001	0.001	0.280	
504		医療的対応	0.016	0.013	0.000	0.046	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.193	0.000	0.000	0.000	0.000	
506		排便調整	0.008	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.109	0.122	0.000	0.000	
507		服薬の調整	0.012	0.000	0.000	0.048	0.000	0.063	0.000	0.000	0.000	0.097	0.000	0.000	0.000	0.000	
508		疼痛管理	0.004	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.097	0.000	0.000	0.000	0.000	
580		その他	0.020	0.000	0.000	0.181	0.000	0.064	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	

(参考) 平均項目数 → 8.4 (253) 3.8 (75) 5.2 (26) 4.0 (22) 8.0 (18) 6.6 (18) 9.2 (18) 14.7 (15) 8.6 (14) 8.9 (10) 5.3 (9) 7.3 (8) 8.4 (8) 8.8 (7)

(注) 該当事例数は、各パターンのサイズ(確率)から算定して整数表示したものであり、確率が異なる場合、事例数が異なることがある。

(表 2-3-4-3) 潜在クラスモデル評価 (食事拒否の解決方法組み合わせパターン)
(情報量規準など)

モデル(クラス数)	情報量規準		Classification Statistics			
	BIC	AIC	Class.Err.	Reduction errors	Entropy R-squared	Standard R-squared
モデル1(クラス数1)	7985.7	7791.4	0.000	1.000	1.000	1.000
モデル2(クラス数2)	8006.5	7614.3	0.065	0.817	0.753	0.790
モデル3(クラス数3)	8166.1	7576.0	0.071	0.836	0.800	0.812
モデル4(クラス数4)	8361.0	7573.1	0.083	0.848	0.829	0.822
モデル5(クラス数5)	8604.6	7618.8	0.071	0.863	0.849	0.840
モデル6(クラス数6)	8831.3	7647.6	0.081	0.874	0.852	0.837
モデル7(クラス数7)	9038.2	7656.7	0.089	0.863	0.874	0.842
モデル8(クラス数8)	9295.7	7716.2	0.087	0.885	0.874	0.845
モデル9(クラス数9)	9556.2	7778.9	0.065	0.896	0.899	0.877
モデル10(クラス数10)	9830.2	7855.1	0.074	0.891	0.887	0.861
モデル11(クラス数11)	10040.3	7867.2	0.075	0.887	0.897	0.863
モデル12(クラス数12)	10312.9	7942.0	0.087	0.890	0.892	0.853
モデル13(クラス数13)	10557.6	7988.8	0.061	0.913	0.918	0.886
モデル14(クラス数14)	10838.8	8072.2	0.084	0.900	0.903	0.863
モデル15(クラス数15)	11078.9	8114.4	0.073	0.911	0.917	0.879

(表2-3-4-4) 食事拒否の解決方法組み合わせパターンと解決後のパターンの相関
(全体)

解決方法の組み合わせパターン		解決後のパターン							
		パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6	パターン7	パターン8
		声をかけると真直に食べるようになった	時間はかかるが摂取するようになった	必ず少しは箸をつけるようになり、全量摂取することもできた	毎回ではないが食べるようになった	拒否がなくなり、食べるようになった	介助するのと口をあけて、食べるようになった	拒否がなくなり、一緒に食卓で、全量摂取することもできた	介助するのと口をあけて、時間はかかるが摂取するようになった
パターン1	「本人ベースで声かけ」を主として、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」や「コミュニケーションをふやす」などに分散した平均3.6項目と最少の組み合わせ	0.112	-0.062	-0.028	0.144*	-0.043	-0.009	-0.110	-0.086
パターン2	「本人ベースで声かけ」を共通ベースにして、「好きな場所で食事を取る」も多く、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」などに分散した平均5.2項目の組み合わせ	-0.024	0.008	0.065	0.063	-0.071	0.045	-0.031	-0.090
パターン3	「好きな食べ物を見せる」を主として、「カロリーを考慮し、おやつを提供」、「一睡、休憩」などに分散した平均4.0項目の組み合わせ	0.109	0.145*	-0.066	-0.081	-0.027	-0.068	-0.080	-0.057
パターン4	「活動量を増やす」と「本人ベースで声かけ」を共通ベースにして、「食事の工夫」や「声かけの工夫」などに関する多様な項目が多く、平均8.0項目の組み合わせ	0.065	-0.099	0.121	0.024	-0.068	-0.060	-0.045	0.050
パターン5	「本人ベースで声かけ」、「活動量を増やす」、「食事前にお茶を提供」などを主として、「生活リズム」に関する項目も多い、平均6.8項目の組み合わせ	0.020	0.054	-0.027	-0.099	0.093	0.016	-0.067	-0.038
パターン6	「好きな食べ物を見せる」と「本人ベースで声かけ」を共通ベースに、「食事の工夫」や「声かけの工夫」そして「生活リズム」に関する項目が多く、平均9.2項目と多様な組み合わせ	-0.106	0.044	-0.050	-0.004	-0.056	0.043	0.008	0.263**
パターン7	「本人ベースで声かけ」、「食事前からこまめに声かけ」、「食事内容、献立の説明」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」の4項目を共通ベースにして、「声かけの工夫」、「誘導の工夫」、「食事の工夫」、「生活リズム」、「環境調整」など多様な項目におよぶ、平均14.7項目と最多の組み合わせ	-0.125	-0.006	0.003	-0.007	-0.111	0.082	0.269**	0.066
パターン8	「ぐっすり眠ってもらうようにした」、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」、「本人ベースで声かけ」、「声かけをせず、職員と一緒に」の5項目を共通ベースにした平均8.6項目の組み合わせ	-0.058	-0.096	0.130	0.030	0.144*	-0.068	-0.061	-0.059
パターン9	「活動量を増やす」と「食べやすいよう、盛りつけを工夫」を共通ベースにして、「水分摂取量を増やした」、「本人ベースで声かけ」、「ぐっすり眠ってもらうようにした」、「少人数席に変更」なども多い、平均8.9項目の組み合わせ	-0.110	-0.018	-0.033	-0.027	0.173*	0.066	-0.058	0.066
パターン10	「調理を手伝う」を共通ベースにして、「配膳をしてもらう」や「好きな献立にする」も多く、「誘導の工夫」が目立つ、平均5.3項目の組み合わせ	-0.045	0.070	-0.004	-0.084	0.075	-0.051	0.056	-0.036
パターン11	「本人ベースで声かけ」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」、「活動量を増やす」の3項目を共通ベースにして、「食事メンバー」と「コミュニケーションをふやす」も多い、平均7.3項目の組み合わせ	0.110	-0.033	-0.084	-0.004	-0.041	-0.054	0.072	0.048
パターン12	「活動量を増やす」、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」、「本人ベースで声かけ」の4項目を共通ベースにして、「声かけをせず、職員と一緒に」も多い、平均8.4項目の組み合わせ	-0.085	0.065	-0.063	-0.069	0.029	-0.042	0.260**	-0.024
パターン13	「活動量を増やす」を共通ベースにして、「カロリーを考慮し、おやつを提供」、「好きな献立にする」、「好きな食べ物を見せる」、「食材の形態、色等の工夫」など「食事の工夫」や「声かけの工夫」も多い、平均9.8項目の組み合わせ	0.052	-0.023	0.013	-0.072	0.016	0.085	-0.044	-0.040

(注) 潜在クラス所属確率による相関係数

(有意水準) 1%水準 **
5%水準 *

(表 2-3-4-5) 食事拒否の解決方法組み合わせパターンと解決後の各状況との関連
(全体)

解決方法パターン	有効回答事例数	【比率】(n=100)										
		拒否が少なくなり、食べようになった	声をかけると声量に食べることが多くなった	食事の話題にはつながらないが、好きなおやつは拒否なく食べるようになった	必ず少しは箸をつけるようになった	毎食ではなすが食べ始めるようになった	時間がかかると拒否するようになった	他利用者と一緒に食卓で摂取するようになった	食量完全するようになった	介助すると口をあげ、食べるようになった	自分から食器を持ち食べるようになった	
全体	204	27.0	29.9	7.4	28.9	14.7	30.4	17.2	11.8	10.8	12.7	
パターン1	「本人ベースで声かけ」を主として、「食べやすいよう、盛り付けを工夫」や「コミュニケーションをふやす」などに分類した平均3.8項目と最少の組み合わせ	56	18.4	29.8	5.1	21.7	17.4	23.4	12.2	10.8	6.7	7.2
パターン2	「本人ベースで声かけ」を共通ベースとして、「好きな場所で食事を取る」も多く、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛り付けを工夫」などに分類した平均5.2項目の組み合わせ	27	12.9	18.3	3.8	27.4	24.4	27.5	11.6	7.1	8.4	9.8
パターン3	「好きな食べ物を見せる」を主として、「カロリーを考慮し、おやつを提供」、「一編、体罰」などに分類した平均4.0項目の組み合わせ	17	15.1	29.1	6.0	11.9	1.6	43.5	17.8	18.4	5.9	22.9
パターン4	「活動量を増やす」と「本人ベースで声かけ」を共通ベースとして、「食事の工夫」や「声かけの工夫」などに関する多様な項目が多く、平均8.0項目の組み合わせ	13	31.1	33.4	15.9	31.5	15.0	15.2	9.6	15.4	8.3	29.2
パターン5	「本人ベースで声かけ」、「活動量を増やす」、「食事前にお茶を提供」などを主として、「生活リズム」に関する項目も多い、平均8.8項目の組み合わせ	13	40.2	40.2	8.0	10.8	0.6	31.6	6.5	16.6	14.9	28.7
パターン6	「好きな食べ物を見せる」と「本人ベースで声かけ」を共通ベースに、「食事の工夫」や「声かけの工夫」をして「生活リズム」に関する項目が多く、平均8.2項目と多様な組み合わせ	15	34.6	27.0	13.8	28.8	27.5	51.1	13.9	20.8	27.2	6.9
パターン7	「本人ベースで声かけ」、「食事前からこまめに声かけ」、「食事内容、献立の説明」、「食べやすいよう、盛り付けを工夫」の4項目を共通ベースとして、「声かけの工夫」、「食事の工夫」、「食事の工夫」、「生活リズム」、「環境調整」など多種多様におよぶ、平均14.7項目と最多の組み合わせ	14	35.2	28.4	14.1	63.7	21.6	42.6	35.6	7.1	28.5	21.1
パターン8	「ぐっすり眠ってもらうようにした」、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛り付けを工夫」、「本人ベースで声かけ」、「声かけをせず、職員が一様に」の5項目を共通ベースにした平均8.8項目の組み合わせ	12	44.4	16.5	8.1	31.5	16.6	15.1	39.4	5.9	0.0	8.1
パターン9	「活動量を増やす」と「食べやすいよう、盛り付けを工夫」を共通ベースとして、「水分摂取量を増やした」、「本人ベースで声かけ」、「ぐっすり眠ってもらうようにした」、「少人数席に変更」なども多い、平均8.8項目の組み合わせ	10	38.4	9.8	0.0	28.8	12.3	39.0	29.3	9.7	20.5	0.0
パターン10	「調理を手伝う」を共通ベースとして、「記録をもらう」や「好きな献立にする」も多く、「調理の工夫」が目立つ、平均6.3項目の組み合わせ	8	37.7	37.0	12.4	49.6	0.4	36.6	12.4	0.0	0.0	0.0
パターン11	「本人ベースで声かけ」、「食べやすいよう、盛り付けを工夫」、「活動量を増やす」の3項目を共通ベースとして、「食事メニュー」と「コミュニケーションをふやす」も多い、平均7.3項目の組み合わせ	8	38.3	62.0	12.5	36.5	12.5	36.8	12.8	12.9	11.8	24.8
パターン12	「活動量を増やす」、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛り付けを工夫」、「本人ベースで声かけ」の4項目を共通ベースとして、「声かけをせず、職員が一様に」も多い、平均8.4項目の組み合わせ	5	59.5	60.2	0.0	79.4	0.1	39.3	40.1	41.0	0.0	20.1
パターン13	「活動量を増やす」を共通ベースとして、「カロリーを考慮し、おやつを提供」、「好きな献立にする」、「好きな食べ物を見せる」、「食料の形態、色等の工夫」など「食事の工夫」や「声かけの工夫」も多い、平均9.8項目の組み合わせ	6	16.5	50.4	0.1	16.6	0.0	16.5	16.4	0.0	16.4	0.0

(注) 所在クラス帰属率による集計

(表2-3-4-6) 食事拒否の解決方法組み合わせパターンと解決後のパターンの相関
(高齢者パターン1“自立、中程度重症度”の場合)

(n=145)

解決方法の組み合わせパターン		解決後のパターン							
		パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6	パターン7	パターン8
パターン1	「本人ベースで声かけ」を主として、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」や「コミュニケーションをふやす」などに分散した平均3.6項目と最少の組み合わせ	0.132	-0.063	-0.071	0.137	-0.051	-0.021	-0.107	0.000
パターン2	「本人ベースで声かけ」を共通ベースにして、「好きな場所で食事を取る」も多く、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」などに分散した平均5.2項目の組み合わせ	-0.079	0.069	0.028	0.095	-0.078	0.003	-0.019	-0.062
パターン3	「好きな食べ物を見せる」を主として、「カロリーを考慮し、おやつを提供」、「一編、休憩」などに分散した平均4.0項目の組み合わせ	0.110	0.130	-0.105	-0.050	-0.011	-0.064	-0.070	-0.039
パターン4	「活動量を増やす」と「本人ベースで声かけ」を共通ベースにして、「食事の工夫」や「声かけの工夫」などに関する多様な項目が多く、平均8.0項目の組み合わせ	0.007	-0.077	0.181 *	0.047	-0.070	-0.062	-0.041	-0.047
パターン5	「本人ベースで声かけ」、「活動量を増やす」、「食事前にお茶を提供」などを主として、「生活リズム」に関する項目も多い、平均6.8項目の組み合わせ	-0.009	-0.016	0.049	-0.079	0.035	0.111	-0.056	-0.037
パターン6	「好きな食べ物を見せる」と「本人ベースで声かけ」を共通ベースに、「食事の工夫」や「声かけの工夫」そして「生活リズム」に関する項目が多く、平均9.2項目と多様な組み合わせ	-0.050	-0.011	0.000	-0.035	-0.012	-0.034	-0.062	0.417 **
パターン7	「本人ベースで声かけ」、「食事前からこまめに声かけ」、「食事内容、献立の説明」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」の4項目を共通ベースにして、「声かけの工夫」、「誘導の工夫」、「食事の工夫」、「生活リズム」、「環境調整」など多様な項目におよぶ、平均14.7項目と最多の組み合わせ	-0.085	0.015	0.066	-0.039	-0.107	0.086	0.179 *	-0.038
パターン8	「ぐっすり眠ってもらうようにした」、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」、「本人ベースで声かけ」、「声かけをせず、職員が一様に」の5項目を共通ベースにした平均8.6項目の組み合わせ	-0.038	-0.084	0.094	-0.040	0.184 *	-0.068	-0.068	-0.043
パターン9	「活動量を増やす」と「食べやすいよう、盛りつけを工夫」を共通ベースにして、「水分摂取量を増やした」、「本人ベースで声かけ」、「ぐっすり眠ってもらうようにした」、「少人数席に変更」なども多い、平均8.9項目の組み合わせ	-0.073	-0.104	0.015	0.007	0.127	0.155	-0.052	-0.033
パターン10	「調理を手伝う」を共通ベースにして、「配膳をしてもらう」や「好きな献立にする」も多く、「誘導の工夫」が目立つ、平均5.3項目の組み合わせ	-0.048	0.096	-0.014	-0.110	0.069	-0.055	0.065	-0.022
パターン11	「本人ベースで声かけ」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」、「活動量を増やす」の3項目を共通ベースにして、「食事メンバー」と「コミュニケーションをふやす」も多い、平均7.3項目の組み合わせ	0.045	-0.006	-0.085	0.030	-0.025	-0.047	0.129	-0.027
パターン12	「活動量を増やす」、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」、「本人ベースで声かけ」の4項目を共通ベースにして、「声かけをせず、職員が一様に」も多い、平均8.4項目の組み合わせ	-0.100	0.086	-0.081	-0.088	0.022	-0.047	0.306 **	-0.011
パターン13	「活動量を増やす」を共通ベースにして、「カロリーを考慮し、おやつを提供」、「好きな献立にする」、「好きな食べ物を見せる」、「食材の形態、色等の工夫」など「食事の工夫」や「声かけの工夫」も多い、平均9.8項目の組み合わせ	0.098	-0.002	-0.084	-0.083	0.023	0.130	-0.049	-0.030

(注) 潜在クラス帰属確率による相関係数

高齢者パターンは帰属確率をクラスター化した(集計手法制約上の配慮)

(帰属確率による高齢者パターン1の事例数に近似するもやや異なる)

有意水準) 1%水準 **

5%水準 *

(表 2-3-4-7) 食事拒否の解決方法組み合わせパターンと解決後の各状況との関連
(高齢者パターン1 “自立、中程度重症度” の場合)

解決方法パターン		有効回答事例数	[比率] (横100)									
			拒否が少なくなり、食べられるようになった	声をかけると普通に食べることが多かった	食事の摂取にはつながらないが、好きなおやつは拒否なく食べるようになった	必ず少しは食べられるようになった	毎回はなすがままに食べられるようになった	時間がかかると拒否するようになった	ご利用者と一緒に食事で摂取するようになった	食量完済するようになった	介助すると口をあけ、食べるようになった	自分から食事を食べるようになった
全体		145	27.6	26.9	6.2	30.3	14.5	25.5	17.9	9.0	6.2	11.0
パターン1	「本人ベースで声かけ」を主として、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」や「コミュニケーションをふやす」などに分類した平均3.8項目と最少の組み合わせ	44	21.7	31.2	2.2	23.6	19.9	21.6	12.8	11.7	6.3	8.6
パターン2	「本人ベースで声かけ」を共通ベースにして、「好きな場所で食事を取る」も多く、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」などに分類した平均3.2項目の組み合わせ	22	15.5	12.5	4.7	27.5	25.1	31.6	14.1	8.3	5.5	2.3
パターン3	「好きな食べ物を見る」を主として、「カロリーを考慮し、おやつを提供」、「一服、休憩」などに分類した平均4.0項目の組み合わせ	9	13.9	21.5	0.1	11.5	3.1	39.4	22.8	11.5	0.0	32.5
パターン4	「活動量を増やす」と「本人ベースで声かけ」を共通ベースにして、「食事の工夫」や「声かけの工夫」などに分類する多様な項目が多く、平均3.0項目の組み合わせ	10	30.6	24.5	19.4	40.7	19.5	9.7	12.5	1.2	0.0	19.2
パターン5	「本人ベースで声かけ」、「活動量を増やす」、「食事前にお茶を提供」などを主として、「生活リズム」に関する項目も多い、平均3.9項目の組み合わせ	6	21.1	36.0	17.8	23.8	1.3	17.3	0.8	1.3	15.6	32.7
パターン6	「好きな食べ物を見る」と「本人ベースで声かけ」を共通ベースに、「食事の工夫」や「声かけの工夫」をして「生活リズム」に関する項目が多く、平均3.2項目と多様な組み合わせ	7	40.7	25.7	13.4	29.3	13.5	45.0	13.8	13.3	13.5	0.1
パターン7	「本人ベースで声かけ」、「食事前からこまめに声かけ」、「食事内容、器立の説明」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」の4項目を共通ベースにして、「声かけの工夫」、「器立の工夫」、「食事の工夫」、「生活リズム」、「環境調整」など多様な項目におよび、平均14.7項目と最多の組み合わせ	8	24.6	12.6	12.3	74.4	13.0	24.6	25.4	12.3	12.3	24.6
パターン8	「ぐっすり眠ってもらうようにした」、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」、「本人ベースで声かけ」、「声かけをせず、職員が一纏に」の5項目を共通ベースにした平均3.8項目の組み合わせ	10	43.3	19.6	0.0	28.0	10.1	18.0	46.9	7.0	0.0	9.7
パターン9	「活動量を増やす」と「食べやすいよう、盛りつけを工夫」を共通ベースにして、「水分摂取量を増やした」、「本人ベースで声かけ」、「ぐっすり眠ってもらうようにした」、「少人数室に変更」など多い、平均3.9項目の組み合わせ	5	38.7	0.0	0.0	18.2	5.1	0.0	19.1	0.0	21.0	0.0
パターン10	「調理を手伝う」を共通ベースにして、「器立をしてもらう」や「好きな器立にする」も多く、「器立の工夫」が自立、平均3.2項目の組み合わせ	8	37.6	37.3	12.5	50.1	0.0	36.4	12.5	0.0	0.0	0.0
パターン11	「本人ベースで声かけ」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」、「活動量を増やす」の3項目を共通ベースにして、「食事メンバー」と「コミュニケーションをふやす」も多い、平均7.3項目の組み合わせ	5	60.2	40.2	19.7	19.8	19.7	39.3	20.1	0.6	0.0	19.8
パターン12	「活動量を増やす」、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」、「本人ベースで声かけ」の4項目を共通ベースにして、「声かけをせず、職員が一纏に」も多い、平均3.4項目の組み合わせ	5	59.6	60.2	0.0	79.4	0.1	39.3	40.1	41.0	0.0	20.1
パターン13	「活動量を増やす」を共通ベースにして、「カロリーを考慮し、おやつを提供」、「好きな器立にする」、「好きな食べ物を見る」、「食材の移動、色等の工夫」など「食事の工夫」や「声かけの工夫」も多い、平均3.8項目の組み合わせ	5	19.8	60.4	0.1	0.1	0.0	19.7	19.7	0.0	19.7	0.1

(注) 高齢者パターンは得異率率をクラスター化した(集計手法制約上の配慮)
(得異率率による高齢者パターン1の事例数に近似的もや異なる)
滞在クラス得異率率による集計

(表 2-3-4-8) 食事拒否の解決方法組み合わせパターンと解決後のパターンの相関
(高齢者パターン2 “一部介助、中高程度重症度” の場合)

解決方法の組み合わせパターン		解決後のパターン							
		パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6	パターン7	パターン8
パターン1	「本人ベースで声かけ」を主として、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」や「コミュニケーションをふやす」などに分散した平均3.6項目と最少の組み合わせ	0.086	-0.033	0.079	0.132	-0.065	0.040	-0.126	-0.184
パターン2	「本人ベースで声かけ」を共通ベースにして、「好きな場所で食事を取る」も多く、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」などに分散した平均5.2項目の組み合わせ	0.144	-0.146	0.168	-0.105	-0.097	0.186	-0.075	-0.110
パターン3	「好きな食べ物を見せる」を主として、「カロリーを考慮し、おやつを提供」、「一煙、休憩」などに分散した平均4.0項目の組み合わせ	0.097	0.156	0.031	-0.123	-0.025	-0.093	-0.097	-0.122
パターン4	「活動量を増やす」と「本人ベースで声かけ」を共通ベースにして、「食事の工夫」や「声かけの工夫」などに関する多様な項目が多く、平均8.0項目の組み合わせ	0.214	-0.154	-0.082	-0.072	-0.079	-0.051	-0.057	0.224
パターン5	「本人ベースで声かけ」、「活動量を増やす」、「食事前にお茶を提供」などを主として、「生活リズム」に関する項目も多し、平均6.6項目の組み合わせ	0.040	0.130	-0.126	-0.117	0.270*	-0.119	-0.088	-0.090
パターン6	「好きな食べ物を見せる」と「本人ベースで声かけ」を共通ベースに、「食事の工夫」や「声かけの工夫」そして「生活リズム」に関する項目が多く、平均9.2項目と多様な組み合わせ	-0.206	0.114	-0.127	0.094	-0.122	0.144	0.129	0.097
パターン7	「本人ベースで声かけ」、「食事前からこまめに声かけ」、「食事内容、献立の説明」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」の4項目を共通ベースにして、「声かけの工夫」、「誘導の工夫」、「食事の工夫」、「生活リズム」、「環境調整」など多様な項目におよぶ、平均14.7項目と最多の組み合わせ	-0.203	-0.061	-0.115	0.091	-0.110	0.067	0.457**	0.146
パターン8	「ぐっすり眠ってもらうようにした」、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」、「本人ベースで声かけ」、「声かけをせず、職員が一緒に」の5項目を共通ベースにした平均8.6項目の組み合わせ	-0.109	-0.121	0.247	0.292*	-0.061	-0.057	-0.044	-0.068
パターン9	「活動量を増やす」と「食べやすいよう、盛りつけを工夫」を共通ベースにして、「水分摂取量を増やした」、「本人ベースで声かけ」、「ぐっすり眠ってもらうようにした」、「少人数席に変更」なども多し、平均8.9項目の組み合わせ	-0.179	0.094	-0.103	-0.071	0.335**	-0.067	-0.070	0.120
パターン10	「調理を手伝う」を共通ベースにして、「配膳をしてもらう」や「好きな献立にする」も多く、「誘導の工夫」が目立つ、平均5.3項目の組み合わせ	-0.112	-0.114	-0.063	0.259*	0.289*	-0.057	-0.044	-0.035
パターン11	「本人ベースで声かけ」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」、「活動量を増やす」の3項目を共通ベースにして、「食事メンバー」と「コミュニケーションをふやす」も多し、平均7.3項目の組み合わせ	0.228	-0.094	-0.078	-0.082	-0.075	-0.072	-0.049	0.125
パターン12	「活動量を増やす」、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛りつけを工夫」、「本人ベースで声かけ」の4項目を共通ベースにして、「声かけをせず、職員が一緒に」も多し、平均8.4項目の組み合わせ	-0.075	0.018	-0.052	-0.046	-0.048	-0.036	-0.037	0.310*
パターン13	「活動量を増やす」を共通ベースにして、「カロリーを考慮し、おやつを提供」、「好きな献立にする」、「好きな食べ物を見せる」、「食材の形態、色等の工夫」など「食事の工夫」や「声かけの工夫」も多し、平均9.8項目の組み合わせ	-0.076	-0.083	0.391**	-0.046	-0.042	-0.039	-0.031	-0.048

(注) 潜在クラス帰属確率による相関係数

高齢者パターンは帰属確率をクラスター化した(集計手法制約上の配慮)

(帰属確率による高齢者パターン2の事例数に近似するもやや異なる)

有意水準) 1%水準 **

5%水準 *

(表2-3-4-9) 食事拒否の解決方法組み合わせパターンと解決後の各状況との関連
(高齢者パターン2 “一部介助、中高程度重症度” の場合)

解決方法パターン		【比率】(数100)										
		有効回答事例数	拒否が少なくなり、食べようになった	声をかけると食事に食べることが多くなった	食事の摂取にはつながらないが、好きなおやつは拒否しなくなった	必ず少しは量をつけるようになり、全量摂取することもできた	毎食ではなすが食べ始めるようになった	時間はかかるが摂取するようになった	ご利用者と一食に全量で摂取するようになった	全量完食するようになった	介助するのを要しなくなった	自分から食事を食べようになった
全体		59	25.4	37.3	10.2	25.4	15.3	42.4	15.3	18.6	22.0	16.9
パターン1	「本人ベースで声かけ」を主として、「食べやすいよう、盛り付けを工夫」や「コミュニケーションをふやす」などに分類した平均3.8項目と最少の組み合わせ	12	8.0	24.4	15.6	14.6	8.1	29.9	10.2	7.5	7.8	2.0
パターン2	「本人ベースで声かけ」を共通ベースとして、「好きな場所や食事を取る」も多く、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛り付けを工夫」などに分類した平均6.2項目の組み合わせ	5	0.7	44.9	0.0	27.1	20.9	8.8	0.1	1.9	21.5	44.1
パターン3	「好きな食べ物を食べる」を主として、「カロリーを考慮し、おやつを提供」、「一編、休憩」などに分類した平均4.0項目の組み合わせ	8	16.5	37.3	12.4	12.4	0.0	47.9	12.4	25.9	12.4	12.4
パターン4	「活動量を増やす」と「本人ベースで声かけ」を共通ベースとして、「食事の工夫」や「声かけの工夫」などに分類する多様な項目が多く、平均8.0項目の組み合わせ	3	32.7	83.0	4.3	0.9	0.0	33.5	0.0	62.2	35.6	82.1
パターン5	「本人ベースで声かけ」、「活動量を増やす」、「食事前にお茶を提供」などを主として、「生活リズム」に関する項目も多い、平均8.8項目の組み合わせ	7	55.7	43.6	0.0	0.3	0.0	43.3	11.1	29.0	14.4	25.4
パターン6	「好きな食べ物を食べる」と「本人ベースで声かけ」を共通ベースに、「食事の工夫」や「声かけの工夫」を主として「生活リズム」に関する項目が多く、平均8.2項目と多様な組み合わせ	7	28.3	28.5	14.1	28.3	42.2	57.4	14.1	28.2	41.5	14.1
パターン7	「本人ベースで声かけ」、「食事前からお茶を飲む」、「食事内容、献立の説明」、「食べやすいよう、盛り付けを工夫」の4項目を共通ベースとして、「声かけの工夫」、「食事の工夫」、「生活リズム」、「環境調整」など多様な項目におよび、平均14.7項目と最多の組み合わせ	6	49.4	49.6	16.5	49.4	33.1	66.9	49.4	0.1	50.3	16.6
パターン8	「ぐっすり眠ってもらうようにした」、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛り付けを工夫」、「本人ベースで声かけ」、「声かけをせず、職員が一纏に」の5項目を共通ベースにした平均8.8項目の組み合わせ	2	49.7	0.8	49.7	49.6	49.7	0.0	0.8	0.1	0.0	0.1
パターン9	「活動量を増やす」と「食べやすいよう、盛り付けを工夫」を共通ベースとして、「水分摂取量を増やした」、「本人ベースで声かけ」、「ぐっすり眠ってもらうようにした」、「少人数席に変更」なども多い、平均8.8項目の組み合わせ	5	40.1	19.9	0.0	39.9	19.9	79.8	39.9	19.9	19.9	0.0
パターン10	「調理を手伝う」を共通ベースとして、「説明をもらう」や「好きな献立にする」も多く、「食事の工夫」が目立つ、平均5.3項目の組み合わせ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パターン11	「本人ベースで声かけ」、「食べやすいよう、盛り付けを工夫」、「活動量を増やす」の3項目を共通ベースにして、「食事メニュー」と「コミュニケーションをふやす」も多い、平均7.3項目の組み合わせ	3	0.0	100.0	0.0	65.7	0.0	32.4	0.0	34.2	32.4	33.4
パターン12	「活動量を増やす」、「コミュニケーションをふやす」、「食べやすいよう、盛り付けを工夫」、「本人ベースで声かけ」の4項目を共通ベースにして、「声かけをせず、職員が一纏に」も多い、平均8.4項目の組み合わせ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パターン13	「活動量を増やす」を共通ベースとして、「カロリーを考慮し、おやつを提供」、「好きな献立にする」、「好きな食べ物を見る」、「食料の形態、色等の工夫」など「食事の工夫」や「声かけの工夫」も多い、平均9.3項目の組み合わせ	1	0.0	0.0	0.0	99.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 高齢者パターンは帰属確率をクラスター化した(絶対手法的上の配慮)
(帰属確率による高齢者パターン2の事例数に近似するもやや異なる)
所在クラス帰属確率による集計

(表 2-3-5-1) 食事拒否の解決に役立った情報

区分	code	解決に役立った情報	実数	%
計 (延解決方法件数)			1,441	100.0
認知能力	1	認知機能	39	2.7
	2	認知症の種類	22	1.5
	3	認知症の症状	92	6.4
	4	認知症罹患期間	2	0.1
健康面	5	体調	148	10.3
	6	現病・既往歴	41	2.8
	7	排泄状況	61	4.2
	8	水分状態	69	4.8
	9	視力・視覚機能	16	1.1
	10	体重・BMI	12	0.8
	11	運動量	62	4.3
	12	睡眠時間・状況	86	6.0
	13	手指腕の機能	29	2.0
	14	薬の種類、服薬状況	49	3.4
	15	麻痺	3	0.2
	16	味覚・嗅覚	34	2.4
	口腔機能	17	口腔状況	46
18		咀嚼力	36	2.5
19		嚥下状態・誤嚥	52	3.6
心理面	20	気分	333	23.1
	21	心配ごと・不満状況	130	9.0
	22	本人の気持ち、意志	392	27.2
食事関係	23	食の嗜好・興味・意欲	309	21.4
	24	最近の食事量	62	4.3
	25	当日の食事量・おやつ量	68	4.7
	26	満腹感、空腹感	44	3.1
	27	食材の質(形・固さ・味・匂い・温度)	116	8.0
	28	盛付	82	5.7
	29	食器の配置	37	2.6
	食事中の状態	30	食中の様子	88
31		姿勢	30	2.1
32		目線	44	3.1
33		食事中の会話	92	6.4
34		表情	137	9.5
習慣	35	最近の食習慣	82	5.7
	36	生活習慣(ここ数年)	117	8.1
	37	生活歴(幼少期から)	141	9.8
環境	38	周囲の雰囲気・刺激(音・光・匂い)	136	9.4
	39	席の位置	98	6.8
	40	椅子・机の形	1	0.1
	41	椅子・机の高さ	15	1.0
	42	椅子・机の色	0	0.0
人間関係	43	他の入居者との関係	162	11.2
	44	スタッフとの関係	223	15.5
	45	家族関係	104	7.2
介護者の対応	46	スタッフの声かけ内容・見守り方	419	29.1
その他	47	所持金/ 経済不安	22	1.5
	48	その他	3	0.2

(参考)平均記入項目数 →

3.0

(表 2-3-5-3) 潜在クラスモデル評価(食事拒否の解決に役立った情報の組み合わせパターン)
(情報量規準など)

モデル(クラス数)	情報量規準		Classification Statistics			
	BIC	AIC	Class.Err.	Reduction errors	Entropy R-squared	Standard R-squared
モデル1(クラス数1)	28685.5	28442.9	0.000	1.000	1.000	1.000
モデル2(クラス数2)	27958.4	27468.0	0.061	0.788	0.740	0.776
モデル3(クラス数3)	27605.7	26867.4	0.087	0.801	0.760	0.776
モデル4(クラス数4)	27660.5	26674.4	0.143	0.778	0.723	0.716
モデル5(クラス数5)	27766.2	26532.3	0.169	0.778	0.719	0.699
モデル6(クラス数6)	27878.4	26396.7	0.154	0.797	0.746	0.724
モデル7(クラス数7)	28010.1	26280.5	0.159	0.800	0.752	0.721
モデル8(クラス数8)	28211.8	26234.4	0.164	0.794	0.762	0.721
モデル9(クラス数9)	28428.9	26203.6	0.152	0.788	0.776	0.731
モデル10(クラス数10)	28648.7	26175.6	0.160	0.795	0.775	0.726
モデル11(クラス数11)	28889.7	26168.8	0.177	0.789	0.774	0.717
モデル12(クラス数12)	29115.7	26146.9	0.178	0.790	0.777	0.714
モデル13(クラス数13)	29409.6	26193.1	0.179	0.790	0.777	0.715
モデル14(クラス数14)	29646.4	26182.0	0.191	0.776	0.779	0.704
モデル15(クラス数15)	29906.9	26194.6	0.183	0.789	0.792	0.715
モデル16(クラス数16)	30188.6	26228.5	0.175	0.795	0.801	0.725
モデル17(クラス数17)	30489.2	26281.3	0.169	0.809	0.813	0.733
モデル18(クラス数18)	30749.6	26293.8	0.180	0.788	0.798	0.717
モデル19(クラス数19)	31030.5	26326.9	0.209	0.761	0.786	0.688

(表 2-3-3-5-4) 食事拒否の解決に役立った情報の組み合わせパターンと解決方法の関連

区分	事例	解決方法	情報の組み合わせパターン															
			パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	パターン5	パターン6	パターン7	パターン8	パターン9	パターン10	パターン11	パターン12	パターン13	パターン14	パターン15	パターン16
環境調整	101	少人数から変更	1.41	1.63	1.41	1.34	1.07	1.05	1.04	1.02	95	86	66	65	48	38	33	28
	102	広い場所から狭い場所へ変更	0.2	0.0	0.0	0.0	2.2	2.4	2.2	3.0	1.1	1.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	103	好きな場所から好きな場所へ変更	4.9	1.9	4.9	4.7	2.4	1.6	1.6	3.6	1.7	3.5	2.7	3.3	1.3	0.4	0.0	20.7
	104	好きな場所から別の場所に移動	1.0	0.3	1.7	0.0	0.7	3.1	3.1	3.3	1.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	105	食事のペースを遅くする	0.3	0.0	0.0	1.3	0.0	1.0	1.0	3.7	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
	106	好きな場所から別の場所に移動	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	107	好きな場所から別の場所に移動	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	108	好きな場所から別の場所に移動	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	109	好きな場所から別の場所に移動	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	110	好きな場所から別の場所に移動	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	111	好きな場所から別の場所に移動	1.1	2.4	2.1	28.6	24.0	18.3	11.4	14.4	1.8	3.8	10.7	2.1	4.0	4.9	10.7	15.6
	112	好きな場所から別の場所に移動	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	113	好きな場所から別の場所に移動	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	114	好きな場所から別の場所に移動	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
115	好きな場所から別の場所に移動	4.7	1.7	3.5	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3	1.0	0.6	2.1	0.2	1.7	2.8	2.8	0.3	
116	好きな場所から別の場所に移動	2.1	2.1	3.3	7.3	10.0	7.3	10.0	7.3	10.0	7.3	10.0	7.3	10.0	7.3	10.0	7.3	
117	好きな場所から別の場所に移動	4.9	0.9	12.9	3.7	8.0	4.7	8.0	4.7	8.0	4.7	8.0	4.7	8.0	4.7	8.0	4.7	
118	好きな場所から別の場所に移動	3.1	0.8	6.3	2.1	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
119	好きな場所から別の場所に移動	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
120	好きな場所から別の場所に移動	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
121	好きな場所から別の場所に移動	1.5	1.7	2.0	1.5	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
122	好きな場所から別の場所に移動	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
123	好きな場所から別の場所に移動	2.1	2.1	1.9	2.1	1.5	2.3	1.5	2.3	1.5	2.3	1.5	2.3	1.5	2.3	1.5	2.3	
124	好きな場所から別の場所に移動	3.5	3.7	13.7	0.8	2.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
125	好きな場所から別の場所に移動	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
126	好きな場所から別の場所に移動	0.1	0.5	0.0	0.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
127	好きな場所から別の場所に移動	7.0	17.4	5.2	0.9	0.6	5.3	1.0	5.2	1.0	0.0	3.4	39.6	5.8	0.0	0.0	12.4	
128	好きな場所から別の場所に移動	2.7	4.0	1.2	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.8	2.3	0.3	0.0	2.4	36.4	
129	好きな場所から別の場所に移動	2.4	1.4	0.7	0.7	0.0	1.4	0.0	1.0	2.8	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	33.3	
130	好きな場所から別の場所に移動	1.7	6.9	1.3	1.4	0.6	4.5	1.1	0.8	0.1	0.9	0.4	0.4	0.2	0.2	0.4	0.4	
131	好きな場所から別の場所に移動	0.7	2.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
132	好きな場所から別の場所に移動	4.9	17.7	7.3	2.2	0.0	8.2	0.2	0.4	0.1	2.7	0.6	12.6	0.1	1.1	4.7	4.6	
133	好きな場所から別の場所に移動	3.7	14.1	6.1	0.0	1.6	14.1	0.3	0.1	1.6	4.6	1.8	9.4	0.1	2.6	8.1	3.5	
134	好きな場所から別の場所に移動	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
135	好きな場所から別の場所に移動	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
136	好きな場所から別の場所に移動	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
137	好きな場所から別の場所に移動	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
138	好きな場所から別の場所に移動	0.8	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
139	好きな場所から別の場所に移動	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
140	好きな場所から別の場所に移動	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
141	好きな場所から別の場所に移動	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
142	好きな場所から別の場所に移動	6.6	0.8	0.8	3.1	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
143	好きな場所から別の場所に移動	0.9	0.5	2.2	2.5	1.4	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
144	好きな場所から別の場所に移動	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
145	好きな場所から別の場所に移動	3.7	0.0	1.1	3.2	4.2	4.2	4.2	3.0	0.7	1.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
146	好きな場所から別の場所に移動	2.3	0.1	0.0	0.0	0.0	4.1	0.0	4.3	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
147	好きな場所から別の場所に移動	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
148	好きな場所から別の場所に移動	5.1	0.1	4.1	9.3	13.5	1.9	1.5	4.5	2.4	16.6	17.9	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	
149	好きな場所から別の場所に移動	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
150	好きな場所から別の場所に移動	1.5	0.0	0.2	0.6	0.3	1.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
151	好きな場所から別の場所に移動	1.0	0.1	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
152	好きな場所から別の場所に移動	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
153	好きな場所から別の場所に移動	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
154	好きな場所から別の場所に移動	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
155	好きな場所から別の場所に移動	0.2	0.2	0.0	0.4	0.9	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(注) 割合はラウンドアップによる概算

(表 2-3-6-1) 絶対にやってはいけない対応

	有効回答数	本人任せで 放っておく	強制的な声 かけ	しかったり、 怒り口調で 声かけ	会話の内容 を否定する	強引に口に 入れる	無理やり席 に座らせる	食べないか らとすぐに下 膳する	その他
実数	249	170	216	226	197	225	209	211	32
パーセント	100.0	68.3	86.7	90.8	79.1	90.4	83.9	84.7	12.9

3. 食事中断への成功事例調査

1) 回答者属性

本調査の回答 260 件における回答者の年齢、性別、職名、役職、資格、所属事業種、勤続年数、総介護経験年数について割合を算出した。

(1) 年齢

有効回答 254 件における回答者の平均年齢は、42.9 歳 (SD11.9 歳) で最少年齢が 21 歳、最高年齢が 90 歳であった。その分布をみると、25 歳から 59 歳まではほぼ均等にばらついている。(表 2-4-1-1 参照)

(2) 性別割合

有効回答 258 件中、回答者の性別割合は男性が 47 件 (18.2%)、女性が 211 件 (81.8%) と女性の割合が多かった。(表 2-4-1-2 参照)

(3) 職名の割合

有効回答 240 件中、回答者の職名の割合はケアワーカーが 95 件 (39.6%)、ケアマネージャーが 80 件 (33.3%)、看護師が 19 件 (7.9%)、相談員が 10 件 (4.2%) となっている。(表 2-4-1-3 参照)

(4) 役職の割合

有効回答 247 件中、回答者の役職の割合は管理者が 100 件 (40.5%)、主任・リーダーが 71 件 (28.7%)、施設長が 15 件 (6.1%)、事務長が 3 件 (1.2%)、理事長が 1 件 (0.4%) で、67 件 (27.1%) が役職なしであった。(表 2-4-1-4 参照)

(5) 資格の所有割合

有効回答 255 件中、回答者の資格の所有割合は介護福祉士が 153 件 (60.0%)、ケアマネージャーが 103 件 (40.4%)、ヘルパーが 99 件 (38.8%)、看護師 (准看護師) が 30 件 (11.8%)、社会福祉士が 16 件 (6.3%) であった。(表 2-4-1-5 参照)

(6) 所属事業種の割合

有効回答 254 件中、回答者の所属事業種は認知症対応型共同生活介護事業が 240 件 (94.5%)、介護老人福祉施設が 4 件 (1.6%)、介護老人福祉施設 (ユニット型) が 3 件 (1.2%)、小規模多機能型通所介護事業が 2 件 (0.8%) であった。(表 2-4-1-6 参照)

(7) 所属事業所での勤続年数

有効回答 260 件中、回答者の所属事業所での平均勤続年数は、4.3 年 (SD3.7 年) で最少が 0.2 年、最高が 37.0 年であった。(表 2-4-1-7 参照)

(8) 総介護経験年数

有効回答 251 件中、回答者の総介護経験の平均年数は、8.9 年 (SD5.2 年) で最少が 0.6 年、最高が 28.7 年であった。(表 2-4-1-8 参照)

2) 食事中断の解決経験

本調査に回答を得た 260 件における食事中断の解決経験、解決した高齢者に関する年齢、性別、認知症の原因疾患、身体機能の障害とADL、認知症の重症度、身体障害の重症度について割合を算出するとともに、介助や重症度などによるパターン化を行った。

(1) 解決経験の有無

有効回答 253 件中、食事中断で解決経験があるのは 239 件 (94.5%) であった。

(表 2-4-2-1 参照)

(2) 高齢者の状態

① 年齢

解決経験がある 239 件のうち有効回答 230 件における高齢者の平均年齢は、84.4 歳 (SD6.8 歳) で最少年齢が 52 歳、最高年齢が 99 歳であった。その分布をみると、85 歳～89 歳が 69 件 (30.0%) で最も多い。(表 2-4-2-2 参照)

② 性別

性別割合は、有効回答 238 件中、男性が 43 件 (18.1%)、女性が 195 件 (81.9%) と女性が多い。(表 2-4-2-3 参照)

③ 認知症の原因疾患

認知症の原因疾患は、有効回答 221 件中、アルツハイマー型が 129 件 (58.4%)、脳血管疾患型が 46 件 (20.8%)、前頭側頭型が 3 件 (1.4%)、混合が 16 件 (7.2%) であった。(表 2-4-2-4 参照)

④ 身体機能の障害とADL

【機能障害部位】

機能障害部位は、有効回答 239 件中、下肢が 80 件 (33.5%)、体幹が 6 件 (2.5%)、上肢が 2 件 (0.8%)、首が 1 件 (0.4%) であり、残りの 150 件 (62.8%) が機能障害なし (=無回答) であった。(表 2-4-2-5 参照)

【食事介助】

食事介助は、有効回答 223 件中、自立が 107 件 (48.0%)、一部介助が 105 件 (47.1%)、全介助が 11 件 (4.9%) であった。(表 2-4-2-6 参照)

【移動】

移動は、有効回答 166 件中、短距離歩行自立が 97 件 (58.4%)、長距離歩行自立が 38 件 (22.9%)、杖自立が 25 件 (15.1%) であった。(表 2-4-2-7 参照)

【排泄】

排泄は、有効回答 213 件中、身体介助必要が 150 件 (70.4%)、身体介助必要なしが 63 件 (29.6%) であった。(表 2-4-2-8 参照)

【入浴】

入浴は、有効回答 228 件中、全介助が 81 件 (35.5%)、洗身洗髪介助が 75 件

(32.9%)、移動介助が 32 件 (14.0%)、その他一部介助が 37 件 (16.2%) で、自立が 3 件 (1.3%) であった。(表 2-4-2-9 参照)

⑤ 認知症の重症度

認知症の重症度は、有効回答 237 件中、ランク I が 11 件 (4.6%)、ランク II が 30 件 (12.7%)、ランク III が 83 件 (35.0%)、ランク IV が 101 件 (42.6%)、ランク V が 12 件 (5.1%) であった。(表 2-4-2-10 参照)

⑥ 身体障害の重症度

身体障害の重症度は、有効回答 226 件中、J ランクが 16 件 (7.1%)、A ランクが 146 件 (64.6%)、B ランクが 57 件 (25.2%)、C ランクが 7 件 (3.1%) であった。(表 2-4-2-11 参照)

⑦ 高齢者パターン

高齢者の状態を総合的にみてパターン化するために、性別、食事介助、認知症の重症度、身体障害の重症度の 4 項目を対象にして潜在クラス分析(注 1)を行った結果 2 パターンが可能となった。

第 1 パターンは、食事介助で自立 (72.1%) が多く、身体障害の重症度で A ランク (87.5%) が多く、認知症の重症度でランク II (23.0%)、ランク III (49.0%) の中程度が多いことから、これを「自立、中程度重症度」と解釈した。このパターンには、有効回答 195 件のうち 107 件 (54.9%) が該当する。

第 2 パターンは、食事介助で一部介助 (70.9%) が多く、身体障害の重症度で B ランク (52.7%) と A ランク (35.4%) が多く、認知症の重症度でランク IV (72.4%) が多くことから、これを「一部介助、中高程度重症度」と解釈した。このパターンには 88 件 (45.1%) が該当する。(表 2-4-2-12 参照)
(潜在クラスモデルの評価経緯は表 2-4-2-13 参照)

(注 1) 潜在クラス分析について

潜在クラス分析は、全体集団から異質な部分集団の混在を識別する分析モデルである。

高齢者全体集団でみたとき、性別、食事介助、認知症の重症度、身体障害の重症度の 4 項目間に関連があれば異質な部分集団が混在していると考えて、項目間の関連がない部分集団(これをクラスと呼ぶ)を識別する。具体的には、同一クラス内では対象 4 項目間の関連がなくなるように識別し、項目間の関連がなくなることを局所独立と呼ぶ。

クラス数は任意であるが、多くすれば局所独立が高まる反面モデルとしての適切さが損なわれる。適切なモデル(クラス数)を評価する指標として AIC や BIC などの情報量規準が用いられ、その数値が低い方が良いとされている。なおここで示すクラス毎の事例件数は確率的に求めた件数である(注 2 参照)。分析ソフトは“LatentGOLD”を用いた。

3) 解決前と解決後の変化

食事中断で解決経験がある 239 件における、解決前の状況と解決後の状況について割合を算出するとともに、解決前後の関連を分析し、高齢者パターンによる差異も確認した。

(1) 解決前の状況

食事中断が解決される前の状況としては、有効回答 238 件中、「食卓テーブルにつくと、少し食べるが途中で食べるのをやめてしまっていた」が 148 件 (62.2%) と際立って多く、「食事は食べ始めるが途中で席を立ち歩き回っていた」が 35 件 (14.7%)、「食事の途中で手を止め、その後は手をつけず寝てしまっていた」が 27 件 (11.3%)、「たまに全量摂取するが殆ど残っていた」が 20 件 (8.4%)、「おかずは食べるが、ご飯だけ残っていた」が 18 件 (7.6%)、「食事中にそわそわ等落ち着きがみられず、苦痛な表情をしていた」が 17 件 (7.1%) であった。(表 2-4-3-1 参照)

(2) 解決後の状況

食事中断が解決された後の状況としては、有効回答 238 件中、「中断する回数が減り、最後まで食べられるようになった」が 155 件 (65.1%) と際立って多く、「好みに合わせたときは食べた」が 47 件 (19.7%)、「職員と同じペースで食べられることも増えてきた」が 20 件 (8.4%) であった。(表 2-4-3-2 参照)

(3) 解決前後の関連

解決前後それぞれの項目重複による影響排除のために、パターン化を経て分析することにした。

① 解決前のパターン

パターン化に用いた方法は潜在クラス分析である。

解決前は 6 パターンであり、第 1 は、「食卓テーブルにつくと、少し食べるが途中で食べるのをやめてしまっていた」(99.9%) だけにほぼ集中している。これに該当する事例が 76 件 (49.0%) であり、“少し食べるが途中で食べるのをやめてしまっていた”パターンと表示する。

第 2 は、「食事は食べ始めるが途中で席を立ち歩き回っていた」(99.1%) に加えて、「食卓テーブルにつくと、少し食べるが途中で食べるのをやめてしまっていた」(13.7%) を若干伴っている。これに該当する事例が 18 件 (11.6%) であり、“食べ始めるが途中で席を立ち歩き回っていた”パターンと表示する。

第 3 は、「食事の途中で手を止め、その後は手をつけず寝てしまっていた」(97.5%) に加えて、「食卓テーブルにつくと、少し食べるが途中で食べるのをやめてしまっていた」(61.0%) を多くが伴い、「たまに全量摂取するが殆ど残っていた」(16.3%) や「食事は食べ始めるが途中で席を立ち歩き回っていた」(5.6%) も多少伴っている。これに該当する事例が 18 件 (11.6%) であり、“途中で食べるのをやめたり、寝てしまっていた”パターンと表示する。